

ショートプログラム参加報告書/Short Program Report

氏 名 / Name	
所属学部・研究科 / School/Graduate School	総合科学部 4 年次
学生番号 / Student ID	
留学先大学 / Host University	台湾国立中央大学 (国名/Country : 台湾)
プログラム名称 / Name of Program	2024 NCU Summer Program
プログラム期間 / Period of Program	From: 2024 年 8 月 12 日 ~ To: 2024 年 8 月 25 日

1. 渡航について / Flight Information

出国年月日 / Date of Departure	2024 年 8 月 12 日
経 路 / Route	福岡空港 → 桃園国際空港
現地での出迎え / Pick-up at Destination	有/Yes (大学関係者/University Staff)
帰国年月日 / Date of Return	2024 年 8 月 25 日
経 路 / Route	桃園国際空港 → 福岡空港

2. 所要経費について / Expenses

所 要 経 費 / Expenses	総額 / Total Amount	140,000	円 / yen
	内訳 / Details	渡航費(往復) / Flight Ticket (Round Trip)	75,000 円 / yen
		保険料 / Travel Insurance	7,400 円 / yen
		宿泊費(住居費) / Accommodation Fee	0 円 / yen
		食費 / Meal Cost	16,000 円 / yen
		その他費用(現地での出費(交通費、お土産代等))	15,000 円 / yen
		その他費用(日本での出費(空港までの交通費、前後泊費、eSIM))	26,000 円 / yen

3. プログラム参加を通じて得た成果等 / Feedback through Your Participation in the Program

・HP に公開してもよい写真を 2~3 枚程度、貼り付けてください。(写真 1 枚当たりの容量は、500KB 以下に縮小して下さい)

このプログラムは、基本的に平日は中国語の授業を受け、休日は自由に台湾での時間を過ごすというものでした。授業が始まる前にお受業のレベル分けテストとして口述試験が実施されました。クラスが A (初學者向け) ~ E クラスと 5 つに分けられ、私は E クラスに配属されました。E クラスの授業は中国語でプレゼンテーションを行うことを目的としたもので、授業ではプレゼンで使用する中国語フレーズを練習し、最後に各自プレゼンを行いました。全体として授業は会話に重点を置いたものでした。そのほか、中国語の短編映画やアニメを見るといった時間も設けられました。また、2 週間のうち 2 日間は Field Trip として、台北 101、中正紀念堂、故宮博物館、九份、黄金博物館といった台湾の名所に足を運びました。

このプログラムの成果として、①中国語での会話を伸ばすことができた、②現地学生や参加学生と仲良くなった、③台湾の文化や歴史の知識をより深めることができた、の 3 点があります。まず、中国語の授業での会話練習や現地学生との交流を通じて、中国語で話すことの苦手意識が薄れていきました。元々私は 1 年次にベーシック中国語を履修し、2 年次前期まで中国語の勉強を続けたものの、会話についてはあまり練習せず、話すことへの抵抗感が大きかったです。しかし、このプログラムを通じて中国語での会話に何度もトライし、少しずつ会話を伸ばすことができました。また、プログラムを通じてたくさんの友人ができました。このプログラムの参加学生は複数の班に分かれ、各班に 1 人ずつ現地学生がサポートしてくれます。私はこの班のメンバーとともに、平日は食事に行ったり休日は観光に行ったりと、かけがえのない思い出をつくることができました。また、他の班の学生や現地学生にも交流を広げることができました。最後に、台湾の文化や歴史への知識を深めることができました。私は言語学専攻で、台湾の閩南語にも少し興味があったので、閩南語が話せる現地学生に様々な言葉を教えてもらいました。また、Field Trip を通じて台湾の歴史を学ぶことができました。特に、黄金博物館を訪れることで日本統治時代の鉱山採掘事業の実態について触れることができました。

この 2 週間で、貴重な経験をたくさん得ることができました。いつかもう一度台湾を訪れ友人と再会できることを心待ちにしながら、今後も着実に中国語を勉強しつづけたいと思います。



注/Remark) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HP への掲載、事務室での閲覧や、大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます。/This report and its contents will be uploaded on the HUSA home page, browsed at the administration office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad.

書類提出先(Word 形式、Teams の課題に提出) / Where to submit (as Word format, by Teams) :
広島大学国際室国際部留学交流グループ (留学交流担当) / Global Initiatives Group

ショートプログラム参加報告書/Short Program Report

氏 名 / Name	
所属学部・研究科 / School/Graduate School	総合科学部・総合科学科 2 年次
学生番号 / Student ID	
留学先大学 / Host University	国立中央大学/NCU (国名/Country : 臺灣/Taiwan)
プログラム名称 / Name of Program	2024 NCU Chinese Language Summer Program
プログラム期間 / Period of Program	From: 2024 年 8 月 12 日(YYYY/MM/ DD) To:2024 年 8 月 25 日(YY/MM/ DD)

1. 渡航について / Flight Information

出国年月日 / Date of Departure	2024 年 8 月 12 日 (YYYY/MM/ DD)
経 路 / Route	広島県→新幹線→FUK→TPE
現地での出迎え / Pick-up at Destination	☒ 有/Yes (pick-up bus) ☐ 無/No
帰国年月日 / Date of Return	2024 年 8 月 25 日(YYYY/MM/ DD)
経 路 / Route	TPE→KIX→新幹線→広島県

2. 所要経費について / Expenses

所 要 経 費 / Expenses	総額 / Total Amount		118,872(146,272)	円 / yen
	内 訳 / Details	渡航費（往復） / Flight Ticket (Round Trip)	62,100(89,500)	円 / yen
		保険料 / Travel Insurance	7,484	円 / yen
		宿泊費（住居費） / Accommodation Fee	0	円 / yen
		食費 / Meal Cost(食べまくったのでもっと抑えられると思う)	20,000-30,000	円 / yen
		その他費用(交通費・移動費)/ Others ()	8,348	円 / yen
		その他費用(お土産・雑費) / Others ()	10,940-20,940	円 / yen

3. プログラム参加を通じて得た成果等 / Feedback through Your Participation in the Program

・HP に公開してもよい写真を 2〜3 枚程度、貼り付けてください。（写真 1 枚当たりの容量は、500KB 以下に縮小して下さい）

まず感じた成果は臺灣の（衣食住）文化や環境、歴史を実際に肌で感じられたことです。有名な観光地だけでなく歴史的な場所を回ったり、フリータイムに伝統的なご飯を食べに行ったりと様々な体験から実際の臺灣を肌で感じられました。日本では難しい現地の方々と実際に会話を交わす貴重な体験もできました。次に感じた成果は臺灣語(汉语)に耳が慣れたことです。授業で習っているのは汉语で簡体字ですが、臺灣語は繁体字のため筆記が異なり慣れるまで大変でしたが、聞き取りは汉语と似ているため、2 週間台湾で生活し至る所で聞き続けたことで耳を慣らすことができました。（外国語という抵抗感が減り、頭に入ってきたようになります。）現在汉语の授業を受けながら、音ではなく言語として以前より頭に入りやすくなったと感じます。日本で汉语を習う時は日本語で教えられるので、授業そのものを臺灣語で受けることが新鮮でした。様々な場所(テレビ、アナウンス等)から流れてくる音声が日本語では無いのも新鮮で、帰国した時には日本語が流れてくるのを逆に新鮮に感じました。また、このプログラムには海外の方も参加していたため、臺灣以外の国の方とも交流ができ、英語を使う機会もあり図らずも英語も鍛えられ、臺灣以外の海外のお話も聞くことが出来ました。伝えよう、理解しよう、受け取ろうという姿勢をもてば言語が曖昧でもコミュニケーションは成り立つなと感じました。しかし、母語のように詳細な意思疎通や機知に富む会話も出来るようになりたいとも感じ、言語学習へのモチベーションに繋がりました。各地の他大学生と交流出来たことも、普段味わえない新鮮で楽しい体験でした。渡航の際の出入国の手続きや交通機関の確保を自分で行い、海外渡航の諸手続きが出来たようになったのも成果だと思います。最初、行きは 1 人のためきちんとたどり着けるか、到着した飛行場で sim カードを受け取れるか不安を感じていました。着いてから sim カード受け取り店舗の場所が分からずインフォメーションに赴いたり、受け取る予定の店舗へ行くと別の店舗の担当だと言われ、そちらへ行くとまた別の場所だと言われたりと大変でした。しかし、1 人のため自分でどうにかしないという覚悟が生まれ、案外何とかなるという体験ができ良かったです。このように色々な体験をできる貴重な機会となったのはもちろん、なによりとても楽しかったので大学の長期休暇の素敵な思い出になりました。パティの方々や先生方、同プログラムに参加した学生の方々、受け入れ先の大学の方々、現地の方々など多くの方に沢山お世話になりました。

注(Remark) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HP への掲載、事務室での閲覧や、大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます。/This report and its contents will be uploaded on the HUSA home page, browsed at the administration office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad.

書類提出先(Word 形式、Teams の課題に提出) / Where to submit (as Word format, by Teams) :
広島大学国際室国際部留学交流グループ (留学交流担当) / Global Initiatives Group

氏 名 / Name	
所属学部・研究科 / School/Graduate School	教育学部/研究科(School/Graduate School) 1 年次(Grade year)
学生番号 / Student ID	
留学先大学 / Host University	国立中央大学 (国名/Country : 台湾)
プログラム名称 / Name of Program	NCUsummer プログラム
プログラム期間 / Period of Program	From: R6 年9月12日(YYYY/MM/DD)~ To:R6 年9月25日(YY/MM/DD)

1. 渡航について / Flight Information

出国年月日 / Date of Departure	R6 年 9月12日 (YYYY/MM/DD)
経 路 / Route	福岡空港~桃園国際空港
現地での出迎え / Pick-up at Destination	☒ 有/Yes (大学関係者/University Staff・その他/Other) ☐ 無/No
帰国年月日 / Date of Return	R6 年 9月25日(YYYY/MM/DD)
経 路 / Route	桃園国際空港~福岡空港

2. 所要経費について / Expenses

所 要 経 費 / Expenses	総額 / Total Amount	約 180000 円 / yen		
	内 訳 / Details	渡航費（往復） / Flight Ticket (Round Trip)	66520	円 / yen
		保険料 / Travel Insurance	7422	円 / yen
		宿泊費（住居費） / Accommodation Fee	0	円 / yen
		食費 / Meal Cost	約 60000	円 / yen
		その他費用(お土産等) / Others ()	約 30000	円 / yen
		その他費用(交通費) / Others ()	約 20000	円 / yen

3. プログラム参加を通じて得た成果等 / Feedback through Your Participation in the Program

・HPに公開してもよい写真を2~3枚程度、貼り付けてください。（写真1枚当たりの容量は、500KB以下に縮小して下さい）
 今回のプログラムでは言語学習のみならず、様々な成果を得ることができた。本当に充実した二週間だったと思う。まず得た成果として挙げられるのは言わずもがな中国語の向上である。繁体字を使用するなどの中国語と多少の違いがあるものの、母語話者の先生にオールチャイニーズで授業をしてもらうことや、現地の方とのコミュニケーションを通して主にリスニング力とスピーキング力が向上したように思う。日本ではなかなか得られない成果だと思う。それと同時に中国語学習へのモチベーションも大きくなった。現地の方と友達になれたことや、日本からの他の留学生に刺激を受けて、もっと学びたいという意欲が格段に上がった。プログラムに参加するまではこんなにも現地の人と仲良くなれるなんて想像すらしていなかったが、別れ際には立ってしまうほど言葉の壁を越えてつながりができ、本当に貴重な経験を積むことができたと思う。一生の友達を作ることができた。日本からの留学生ともつながりができ様々なことについて意見交換したり、中国語を高めあうことができて本当によい経験になった。次に英語力の向上である。プログラムの中では、公用語として主に英語が使用された。そのため毎日英語を話し、また、聞き取るということをする中で英語力も大きく向上したと実感している。最後は異文化交流ができたということである。台湾の様々な場所に訪れ、様々な文化に触れることができた。単に旅行をするだけで生えられない表面上ではなく生の台湾を感じることもできた。これもひとえにバディさんのおかげである。また、台湾の文化を体験するだけでなく、日本語を教えたり、日本の文化についても知ってもらい貴重な異文化交流の機会になった。僕は日本から折り紙を持っていき一緒に鶴を折った。総括になるが、本当に参加してよかったと心から思えたプログラムだった。機会があればぜひまた参加したいと思う。



注/Remark) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HPへの掲載、事務室での閲覧や、大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます。/This report and its contents will be uploaded on the HUSA home page, browsed at the administration office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad.

書類提出先(Word形式、Teamsの課題に提出) / Where to submit (as Word format, by Teams) :
 広島大学国際室国際部留学交流グループ (留学交流担当) / Global Initiatives Group

ショートプログラム参加報告書/Short Program Report

氏 名 / Name	
所属学部・研究科 / School/Graduate School	学部/研究科(School/Graduate School) 年次(Grade year) 1 ST Year
学生番号 / Student ID	
留学先大学 / Host University	National Central University (国名/Country : Taiwan)
プログラム名称 / Name of Program	Chinese Language & Culture Immersion
プログラム期間 / Period of Program	From: 2024 年 08 月 12 日(YYYY/MM/ DD) To:2024 年 08 月 25 日(YY/MM/ DD)

1. 渡航について / Flight Information

出国年月日 / Date of Departure	2024 年 08 月 10 日 (YYYY/MM/ DD)
経 路 / Route	Hiroshima - Incheon - Taipei
現地での出迎え / Pick-up at Destination	☒ 有/Yes (大学関係者/University Staff・その他/Other) ☐ 無/No
帰国年月日 / Date of Return	2024 年 08 月 26 日(YYYY/MM/ DD)
経 路 / Route	Taipei - Hiroshima

2. 所要経費について / Expenses

所要経費 / Expenses	総額 / Total Amount		173269	円 / yen
	内訳 / Details	渡航費（往復）/ Flight Ticket (Round Trip)	82627	円 / yen
		保険料 / Travel Insurance	7482	円 / yen
		宿泊費（住居費）/ Accommodation Fee (in transit – S. Korea)	9980	円 / yen
		食費 / Meal Cost (mostly online Indian meals)	48000	円 / yen
		その他費用() / Others (Visa Fee)	6480	円 / yen
		その他費用() / Others (local travel & monument tickets)	18700	円 / yen

3. プログラム参加を通じて得た成果等 / Feedback through Your Participation in the Program

・HP に公開してもよい写真を 2～3 枚程度、貼り付けてください。（写真 1 枚当たりの容量は、500KB 以下に縮小して下さい）

The trip to Taiwan was a highly enriching experience. The hospitality extended by the university was commendable, with representatives arranging airport pick-up, which was greatly appreciated. I was placed in Group A for the basic Chinese language course, where I had the privilege of being taught by two remarkable instructors, Ms. Chiang Wang and Ms. Shirley Fu. Both teachers were extremely polite and humble, dedicating significant effort to ensure we learned as much as possible within the limited time available.

The local transportation, particularly the bus system, was both efficient and cost-effective. The food, whether within the university campus or at nearby locations, was consistently delicious and enjoyable. One of the highlights of the trip was the first field trip, which included visits to the National Palace Museum, Taipei 101 Building, and Chiang Kai-shek Memorial Hall. This excursion provided a well-balanced mix of Taiwan's rich history and modern developments, offering numerous cultural experiences. The second field trip to Jiufen Old Street and the Gold Museum was equally memorable, with Jiufen Old Street offering stunning landscapes and a vibrant traditional market.

However, there were a few areas where improvements could be made. Although my student buddy was generally helpful, I noticed that she tended to focus more on the female students, often neglecting the boys, especially when it came to discussing meal options. A more pressing issue arose regarding meal arrangements during the field trips. Prior to the trip, I had clearly informed the organizers that, as a Hindu from India, I do not consume beef or pork due to religious restrictions. Unfortunately, this information was overlooked. On both field trips, breakfast was provided on the bus, and it consisted of pork hamburgers, which I could not eat. Despite my prior communication, the tour staff claimed they were not informed. As a result, I had to wait until 1:00 PM to have my first meal, and on one occasion, this delay caused a gastric attack and severe headache, and I could not enjoy the day 2 trip. I believe such issues could be avoided in future trips with better communication and consideration of dietary restrictions.

注/Remark) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HP への掲載、事務室での閲覧や、大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます。/This report and its contents will be uploaded on the HUSA home page, browsed at the administration office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad.

書類提出先(Word 形式、Teams の課題に提出) / Where to submit (as Word format, by Teams) :
 広島大学国際室国際部留学交流グループ (留学交流担当) / Global Initiatives Group